

# 令和3年度事業報告書

一般財団法人 いも類振興会

## 1. 事業の概要

わが国の重要畑作物であるサツマイモ、ジャガイモの生産振興と消費拡大等により、国民食料の安定供給に寄与するため、次の事業を行った。

情報活動事業では、従来より当振興会事業の基幹となっている「いも類振興情報」を前年度に引き続き発行した。また、前年度に構築したバックナンバーの記事検索・閲覧システムのデータを更新した。

調査研究事業では、刊行されている「ジャガイモ事典」、「サツマイモの近代現代史」、「焼きいも事典」、「干しいも事典」、「清薯源流の砦 平成の歩み」を引き続き頒布したほか、「かんしょ品質評価研究会」をウェブ会議形式で開催し、「品質評価試験報告書」として取り纏め配布した。

知識啓発・普及事業では、前年度に引き続き、農林水産省消費者の部屋における「さつまいも、じゃがいもの週」の展示に協力したほか、「いも類講演会」をウェブ会議形式で開催した。

日本いも類研究会事務事業については、引き続き研究会の事務局業務を行った。

## 2. 会議等の開催

令和2年度では、次の会議等を開催した。

### (1) 評議員会

令和2年度定時評議員会（書面決議）

期 日： 令和3年6月30日決議

議 案： 第1号議案 令和2年度事業報告書について

第2号議案 令和2年度財務諸表について

第3号議案 令和3年度事業計画書及び令和3年度収支予算書について

第4号議案 特定資産への繰り入れについて

第5号議案 評議員、理事および監事の選任について

経 緯： 新型コロナウイルスの感染拡大に対応して、令和3年6月15日付けで評議員及び監事全員に提案書を送付し、6月30日までに書面により全員から同意及び確認の意思表示を得たので、定款第18条4項に基づき

評議員会の決議があったものとみなされた。

## (2) 理事会

令和3年度第1回通常理事会(書面決議)

期 日：令和3年6月10日決議

議 案：第1号議案 令和2年度事業報告書について

第2号議案 令和2年度財務諸表について

第3号議案 特定資産への繰り入れについて

第4号議案 評議員、理事および監事の選任について

経 緯：新型コロナウイルスの感染拡大に対応して、令和3年6月1日付けで理事及び監事全員に提案書を送付し、6月10日までに書面により全員から同意及び確認の意思表示を得たので、定款第32条2項に基づき理事会の決議があったものとみなされた。

令和3年度臨時理事会

期 日：令和3年6月30日

場 所：三会堂ビル 9階第2会議室

議 案：第1号議案 理事長及び副理事長の選定について

第2号議案 その他

令和3年度第2回通常理事会

期 日：令和4年3月23日

場 所：ウェブ会議

議 案：第1号議案 令和4年度事業計画書について

第2号議案 令和4年度収支予算書について

## (3) 事業監査

令和3年5月26日に当振興会の事務室において、令和2年度の事業報告書及び財務諸表等について、監事による事業監査が実施され、適正であると認められた。

## (4) いも類振興情報編集委員会

期 日：令和3年3月14日

場 所：ウェブ会議

議 題： 1. 「いも類振興情報」の企画編集について

2. その他

## 3. 評議員、理事、監事および職員の異動

### (1) 評議員、理事、監事

異動なし。(令和3年6月30日に選任の通り)

(2) 職員

異動なし。

#### 4. 事業実施の概要

(1) 情報活動事業

「いも類振興情報」の発行

「いも類振興情報」は、国内外のいも類に関わる生産、流通、加工および消費について収集した情報を編集し、いも類の生産振興、消費の拡大に資することを目的に発行しているわが国唯一のいも類専門情報誌である。

令和3年度も年4回(第147号～150号)発行し、農林水産省、都道府県、試験研究機関、種苗管理センター、農業改良普及センター、植物防疫所、農業協同組合、大学等教育機関、関係団体・企業等へ配布した。

特集記事として、第147号では「イノベーション創出強化研究推進事業27033C研究成果紹介」、第148号では「いも類講演会(誌上)」、第149号では「ジャガイモの主要病害虫と対策」、第150号では「いも類の新品種紹介」をそれぞれとりあげた。

また、一般記事として、調査・研究、産地情報、海外情報、商品情報、いもと文化、ジャガイモの料理、おいも探訪、トピックスなどを掲載した。

バックナンバーについては、令和3年度から当振興会の共同サイトにオンライン <http://ebook-viewer.com/imoshin/>で95号から直近の1年間を除いて(146号まで)全て公開した。

(2) 調査研究事業

各種事典等の発行および頒布

平成21年度の「サツマイモ事典」、平成23年度の「ジャガイモ事典」、平成24年度の「サツマイモの近代現代史」、平成26年度の「焼きいも事典」、平成28年度の「干しいも事典」及び平成31年度の「清薯源流の砦 平成の歩み」の頒布に努めた。ただし、「サツマイモ事典」は在庫切れの状態にある。

かんしょ品質評価研究会の開催

かんしょ品質評価研究会は、サツマイモの食品加工メーカー等の実需者、農研機構等の育種研究者および関係機関が参画し、加工用途毎の特性に着目した適性品種の育種開発の加速化を目的として平成16年度から実施している研究会であり、事務局はいも類振興会に置かれている。

令和3年度は、14のサツマイモ供試系統について、焼きいも、干しいも、ペースト、カット、いもようかん、大学いも、チップ・けんぴ、焼酎の用途別に、各担当社

が品質評価試験を実施した。

その試験結果を、令和4年1月26日に、ウェブ会議方式で開催した令和3年度かんしょ品質評価研究会で分析・評価のうえ、「令和3年度かんしょ品質評価研究会・品質評価試験報告書」(令和4年3月)として取りまとめ、関係機関・団体等に配布した。

#### サツマイモ基腐病の現状と対応に関する情報交換会

平成30年の発生確認以来、南九州で猛威を振るっていたサツマイモ基腐病の発生地域が全国に拡大したことから、日本かんしょ輸出促進協議会、日本いも類研究会との共催により、Zoom ウェビナーによるセミナー型式での情報交換会を3回、開催した。

情報交換会には沖縄から北海道まで、150～160箇所程度、約300人と多数の参加があり、最新の研究成果に基づくマニュアルについて解説するとともに、主要産地の生産管理担当者や種苗供給、流通・加工など様々な分野の関係者を交えて現地での取組状況や今後の対応に関する意見交換を行った。

### (3) 知識啓発・普及事業

令和4年3月17日に、日本いも類研究会との共催により、下記の講師5名による「いも類講演会」をウェブ会議方式で開催し、北海道から鹿児島まで100名以上の参加を得た。

#### ア 持続可能な馬鈴薯生産とサラダへの取組

ケンコーマヨネーズ(株) 商品開発本部サラダ研究所 部長 西田 毅 氏

#### イ コナフブキからコナユタカ、コナヒメへの転換

(地方独法 北総研)北見農業試験場 研究部 専門研究員 松永 浩 氏

#### ウ バイオテクノロジーを用いた有用なサツマイモの育成

石川県立大学生物資源工学研究所 准教授 大谷 基泰 氏

石川県立大学生物資源工学研究所 助教 中谷内 修 氏

#### エ 北海道さつまいも懇話会の活動を振り返って

拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科 教授 大道 雅之 氏

令和3年月10月25日～10月29日に、農林水産省消費者の部屋で「さつまいも・じゃがいもの週」が開催され、340名を超える来場者があった。いも類振興会はこの催しに協力して、ばれいしょ19品種、かんしょ21品種を入手して展示した。加えて、関係機関・企業の協力を得て、ポテトサラダ、ポテトチップス、干しいも、けんぴ、焼酎、色素サンプルなどの、いも類関係の製品及び品種ごとの解説パンフレットなどの資料も展示した。

なお、従来、実施していた試食は、新型コロナウイルス対策として本年も中止とした。

関係機関・団体、マスコミ等からのいも類の知識啓発・普及に関する協力要請に

対し、前向きに対応した。特に、3年度はマスコミ各社から「焼きいも」や「干しいも」に関する協力・取材要請が多く、いも類への関心を高めるため積極的に対応した。

(4) 日本いも類研究会事務事業

前年度に引き続き、日本いも類研究会の事務局として、その事務局業務を円滑に実施した。なお、日本いも類研究会の会員には「いも類振興情報」を1部ずつ配布している。

(5) いも類に関する情報の収集および提供

官公庁、試験研究機関、関係団体・企業、生産現場等から、国内外のいも類等に関する情報を収集・整理するとともに、照会・相談に対し説明を行った。

いも類振興会の組織、事業活動、財務内容等に関する一般法人としての情報公開を、インターネットの共同サイト((公財)公益法人協会)を通じて行った。